

## 私のすすめるこの1冊

湯川 夏子 (家政科 准教授)

### 『伝わる・揺さぶる! 文章を書く』

山田ズーニー 著

春休みになりました。この時期、教員採用試験や就職活動で、志望動機書を書きと書いている人も多いことでしょう。日常でも、メール、ブログ、レポートなど、私たちは、日々文章を書く機会が多くあります。しかし、私、文章を書くことは苦手です。何をどう書いてよいかわからない、書いてもうまく人に気持ちが伝わらない。文章を書くことは難しい…。そんな私が、とても助けられたのがこの本です。

著者は、長年高校生に小論文の指導をしていた文章指導の達人です。「意見」「望む結果」「論点」「読み手」「自分の立場」「論拠」「根本思想」の7つの視点から、よい文章を書くためのコツをアドバイスしています。実践編では、「お願いの文章」「志望理由を書く」「メールを書く」など日常書く機会がありそうな具体的な文例を紹介しながら、「伝わる」文章を書く方法をわかりやすく解説しています。

しかし、この本は単なる文章のテクニックを教えている本ではありません。「書くことは考えることだ」と著者は述べて

います。「自分の頭でものを考える方法」を教えてくれる本なのです。

とくに有効だったのは、この文章は何のために書くのだろうか?と「望む結果」を考える視点です。「この文章を読んだ人にどういう感想を言ってほしいか?」ということをも自分でとことん考え、その「望む結果」にむけて、文章を書いていこうというものです。

このアドバイスは、文章を書くときだけでなく、発表や授業の内容を考える際にも大いに役立ちます。「これは何を伝えたいか?」とつきつめて考えることは、まさに人と「コミュニケーション」する力そのものです。相手に、何を伝えたいか?そして、何を感じてほしいか? (=伝える・揺さぶる!), 非常に単純であたりまえなことのようにですが、これは、とても大事だったことに気づかせてもらいました。これから教員採用試験や就職試験を受ける人、授業案や卒論をまとめる人、など様々な場面でこの本は、きっと役にたつと思います。ぜひ多くの人に、読んでもらいたい本です。

『伝わる・揺さぶる! 文章を書く』 著者: 山田ズーニー

発行者: PHP 研究所 発行年: 2001年 ISBN: 9784569617367 693円 購入手続き中

# ご存じですか？OPACのこんな機能 - 貸出更新編（学内者対象サービス） -

今回は貸出更新(返却期限日の延長) サービスについてご紹介します。インターネットが利用可能な環境であれば学外からでも貸出更新が可能となります。

※ サービス利用には OPAC 用 ID・パスワード登録が必要です。  
お済みでない方はカウンターにお越し下さい。

1. OPAC を開いて左のメニューから「利用状況の確認」を選択
2. ID・パスワード入力画面で登録済みの ID・パスワード入力
3. 利用状況の確認画面から「貸出 △冊」を選択
4. 貸出一覧で更新したい図書のチェックボックスにチェックを入れて「貸出更新」をクリック

◇利用者サービス(学内)

▶ 利用状況の確認

▶ 新規購入依頼

▶ 他大学への貸出

▶ 他大学への借入

▶ Web申込について

クリック

利用状況の確認

■ そったくさんへのお知らせ  
ですと

▶ 貸出 1冊

延滞レコードはありません。

クリック

貸出一覧

利用状況の確認 > 貸出一覧

貸出 1冊中、1-1冊を表示しています。

ソートキー: 返却期限日 一覧表示件数: 10件

No.	状態	返却期限日	貸出日	書誌事項
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2011/03/15	2011/03/01	学校でつくる食育のカリキュラム(北俊夫編、 でつくる食生活の基礎・

チェック  
を入れる

クリック

貸出更新

利用状況確認画面へ

5. 結果の画面で貸出更新ができたこと(2週間後になったこと)を確認

※ 処理日から2週間後が返却期限日となります。(元の期限日が2週間延長されるわけではありません。)

## 図書館からのお知らせ

### 《2010年度第2回 除却図書譲渡》を行います

第1回の除却図書譲渡を2010年11月5日～14日(「藤陵祭」含む)に行い、多くの図書を引き取っていただきました。下記の日程で第2回を開催しますので、お時間のある方は是非ご覧になって下さい。

- ・ 日時 : 3月25日(金)～4月9日(土)  
※ 4月9日は「ふれあい伏見フェスタ」にて公開します。
- ・ 場所(予定): 附属図書館1階玄関ゲート前、北館1階階段横、北館2階視聴覚室
- ・ 図書 : 約1,000点を展示。分野は多岐に渡ります。

▽ 除却図書とは? ▽

図書館内の狭隘化のため重複した書庫内図書を除籍したものです。十分使用に耐えうるものも存在しています。自分に必要な図書を発見してご活用ください。

## 常設の「除却図書コーナー」も併せてご覧ください。

場所: 玄関ゲート前、北館1階階段横

§ 春季休業に伴う休暇貸出について §

区分	学部学生	大学院生・教職員
貸出期間	1月28日(金)～3月25日(金)	1月17日(月)～3月11日(金)
貸出冊数	7冊	12冊
返却期限日	4月11日(月)	

- ・ 休暇貸出図書については、貸出更新(返却期限日の延長)はできません。
- ・ 視聴覚資料は休暇貸出の対象外です。
- ・ 一般利用者の方は休暇貸出の対象外です。

§ 卒業・修了予定の方へ §

1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は2011年3月10日(木)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことによって、2011年3月25日(金)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2. 卒業後も図書館を利用される場合

一般利用者としてご利用いただけます。卒業後の利用案内・貸出カードの申請書は卒業時に配布します。3月25日(金)の卒業式・修了式の日から貸出カードを発行しますので、ご希望の方はカウンターでお申込みください。3月中ならば、お申込み当日に貸出カードをお渡しすることも可能です。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

2011年4月1日(金)以降の手続きには、①住所確認書類、②卒業生と確認できる書類(卒業証書または卒業証明書等)が必要です。カードは後日郵送になります。

※2011年3月末で本学を卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が3月10日(木)になっている方は、2011年4月11日(月)に変更になります。図書館への申出は不要です。

～ 図書館開館スケジュール ～

2011年 3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		▲	休	▲	▲	休
6	7	8	9	10	11	12
休	▲	▲	▲	▲	▲	休
13	14	15	16	17	18	19
休	▲	▲	▲	▲	▲	休
20	21	22	23	24	25	26
休	休	▲	▲	▲	▲	休
27	28	29	30	31		
休	▲	▲	▲	▲		

2011年 4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					▲	休
3	4	5	6	7	8	9
休	▲	▲	▲	▲	●	▲
10	11	12	13	14	15	16
休	●	●	●	●	●	▲
17	18	19	20	21	22	23
休	●	●	●	●	●	▲
24	25	26	27	28	29	30
休	●	●	●	●	●	▲

<カレンダーの見方>

日付	9:00～21:00
●	
日付	9:00～17:00
▲	
日付	
休	休館日

3月2日(水)は館内整理日のため休館

3月1日(火)～4月7日(木)は春季休業に伴い、平日9:00～17:00・土曜休館となる

## 教育資源の「適正」配置に関する基礎的研究 —高等学校長のキャリアプロセスの観点から—

松村千鶴・浅田昇平・榊原禎宏

松村千鶴(教育支援センター 教授)

京都教育大学紀要 No.117 p.73-81 平成22年9月

「教育は人なり」という表現は、教育効果に果たす人の影響の大きさと合わせて、教育資源に占める人的資源の比重の高さと解釈することもできます。なかでも学校の最高責任者である校長は重要な教育資源と考えられますが、日本の教員の学校間異動は教育委員会の経営活動として専ら捉えられるでしょう。その眼目は、①全県的な教育水準の維持向上、②各学校の課題への対応、③個人への報償等処遇、と理解できます。しかし、人的な公教育資源の長期的開発という観点に立つ校長に至る異動については、経験的知見をほとんど超えるものを見出せません。

そこで、事例自治体の高等学校において、教諭の最終年度から校長への登用年度までの個人の軌跡をたどることを通じ、人事行政がいかなる教育資源の「適正さ」を担保しているかについて基礎的な作業を行ったのが、この研究です。

その結果、まず高等学校の校長職までのキャリアプロセスには、4つの類型に整理でき、3分の2の校長が教育行政職の経験を有しているということがわかりました。また、半数以上が2度目も含め副校長職経験後に教育行政職についていることから、高校教育を全県的に俯瞰することができる学校管理職を養成しようとする自治体の意図が読みとれます。一方、教育行政職の経験をもたない校長は、ミドルリーダーとしての実績をもち、副校長職を平均5年と長く経験したあとに校長職に任用されており、学校管理職としての実務経験が評価されていると捉えられます。

次に、同じ自治体の人事異動でありながら、南部、中部、北部と分けられるブロックごとに顕著なローカルルールの存在が認められました。つまり、南部と北部では、同一ブロック内での異動がほとんどであるのに対して、中部ブロックでは他の2ブロックへの異動がほぼ同じ頻度で見られました。また、副校長として南部への「一方通行」の人事異動も見られ、特色ある高校への「内地留学」としての意味合いをもつことが想定されます。さらに、各ブロック間では、教育行政職の経験時期、任用年齢、在任年数において大きな違いが認められました。

今後、高校のプロフィールと校長のキャリアとの対応関係の他、他の事例での追試が課題であると考えています。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 117号に掲載されています。

京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>からも閲覧可能です。

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページはこちらから  
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

右記のQRコードからも  
アクセスできます



京教図書館 News No.126 (2011年3月号)

発行日：平成23年3月1日

編集発行：京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学